

IBM InfoSphere Optim pureQuery Runtime for Linux, UNIX, and Windows



バージョン 3.3

クイック・スタート・ガイド

このガイドでは、IBM InfoSphere Optim pureQuery Runtime for Linux, UNIX, and Windows バージョン 3.3 の標準的なインストールの開始方法について説明します。

製品の概要

IBM® InfoSphere® Optim™ pureQuery® Runtime for Linux, UNIX, and Windows は、JDBC データベース・ドライバーを介してデータ・ソースにアクセスする Java™ アプリケーション用ハイパフォーマンス・データ・アクセス・プラットフォームを提供します。また、.NET アプリケーションおよび DB2® コール・レベル・インターフェース (CLI) アプリケーションのサービス品質を向上させます。InfoSphere Optim pureQuery Runtime for Linux, UNIX, and Windows をハイパフォーマンス・データ・アクセス・プラットフォームとして使用する方法については、次のページに記載されている概要を参照してください：<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/dstudio/v4r1/topic/com.ibm.datatools.javatool.runtime.overview.doc/>。

1 ステップ 1: ソフトウェアにアクセスする



Passport Advantage®から製品をダウンロードする場合は、次のページからダウンロードできる文書を参照してください：<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg24034651>。

製品 DVD から製品のインストール・ファイルにアクセスするには、次のページに記載されている説明に従ってください：<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/dstudio/v4r1/topic/com.ibm.datatools.javatool.runtime.ig.doc/>。

2 ステップ 2: pureQuery をご使用の環境に統合する方法を確認する



IBM InfoSphere Optim pureQuery Runtime for Linux, UNIX, and Windows のソフトウェア・パッケージには JAR ファイルと pureQuery ライセンス・ファイルが含まれており、これにより pureQuery の機能が有効になります。

- pureQuery Runtime JAR ファイルとは、pdq.jar、pdqmgmt.jar、および pdqsqlparser.jar のことです。これらの JAR ファイルを以下の 2 つの場所に追加します。-->
 - JAR ファイル pdq.jar および pdqmgmt.jar を、アプリケーションで使用するデータ・ソースの CLASSPATH に追加します。これにより、pureQuery Runtime が使用可能になります。
 - JAR ファイル pdq.jar、pdqmgmt.jar、および pdqsqlparser.jar を、pureQuery ユーティリティを実行するコンピューターの CLASSPATH に追加します。例えば、pureQuery ユーティリティをコマンド行から実行するコンピューター、または pureQuery ユーティリティをスクリプト・ファイルから実行するコンピューターで、CLASSPATH を更新します。pureQuery ユーティリティの実行については、次の pureQuery 資料を参照してください：<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/dstudio/v3r3/topic/com.ibm.datatools.javatool.utils.doc/>。
- pureQuery ライセンス・ファイルにより、.NET アプリケーションおよび CLI アプリケーション用の pureQuery 機能が使用可能になります。ライセンス・ファイルは、データ・ソースに接続するためにアプリケーションが使用するデータベース・ドライバーによって使用されます。

3 ステップ 3: ハードウェアおよびシステム構成を評価する

IBM InfoSphere Optim pureQuery Runtime for Linux, UNIX, and Windows のシステム要件の詳細については、次のページを参照してください：<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27022224>。

4 ステップ 4: InfoSphere Optim pureQuery Runtime for Linux, UNIX, and Windows をインストールする



Java アプリケーション用にこの製品をインストールするには、Java アプリケーションを実行しているコンピューターでインストール・プログラムを実行します。pureQuery 機能を .NET または CLI アプリケーションと共に使用する場合は、pureQuery ユーティリティを実行するコンピューターでインストール・プログラムを実行します。

- Windows の場合は、IBM.OPQRT.v3.3.0.0.install-on-win-Windows_version.exe を実行します。DVD からインストールを開始し、ご使用のコンピューターで自動実行が使用可能になっている場合は、インストール・ウィザードが開きます。
- Linux または UNIX が稼働するコンピューターで root ユーザーによるインストールを実行する場合は、IBM.OPQRT.v3.3.0.0.install-on-operating_system.bin を実行します。

インストール・ウィザードの指示に従い、インストールを完了します。

5 ステップ 5: 環境を構成する



InfoSphere Optim pureQuery Runtime for Linux, UNIX, and Windows for Java, .NET, または CLI を使用するようにご使用の環境を構成できます。

Java Java アプリケーションで pureQuery 機能を使用できるようにするには、アプリケーション環境を構成し、pureQuery JAR ファイル pdq.jar および pdqmgmt.jar を、Java アプリケーションのランタイム環境の CLASSPATHJavaH に追加する必要があります。アプリケーションが Web アプリケーション・サーバーのコンテナ内で実行される場合、該当するサーバーの資料を参照して、その環境内で追加の JAR ファイルを構成する方法を確認してください。また、pureQuery アプリケーションのデプロイについては、次のページの pureQuery 資料を参照してください: <http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/dstudio/v4r1/topic/com.ibm.datatools.javatool.static.doc/>

.NET および CLI

.NET または CLI アプリケーションで pureQuery 機能を使用可能にするには、アプリケーションを構成し、pureQuery ライセンス・ファイルをインストールする必要があります。次のページの情報を参照してください: <http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/dstudio/v4r1/topic/com.ibm.datatools.javatool.static.doc/>

6 ステップ 6: pureQuery Runtime の初期手順を開始する



pureQuery のチュートリアルを実行すると、pureQuery の機能について理解できます。チュートリアルでは、IBM Data Studio を使用します。

pureQuery クライアントの最適化を使用可能にする

<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/dstudio/v4r1/topic/com.ibm.datatools.javatool.welcome.doc/>

pureQuery アノテーション・メソッドを使用する Java アプリケーションを開発する

<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/dstudio/v4r1/topic/com.ibm.datatools.javatool.welcome.doc/>

7 ステップ 7: インストールおよび構成の説明を参照する



インストール資料には、サイレント・インストールや、pureQuery Runtime を InfoSphere Optim Performance Manager と共にインストールする方法など、さまざまなインストール・シナリオの詳細な説明が記載されています。次のインフォメーション・センターの『InfoSphere Optim pureQuery Runtime for Linux, UNIX, and Windows バージョン 3.3 のインストール』のトピックを参照してください: <http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/dstudio/v4r1/topic/com.ibm.datatools.javatool.runtime.ig.doc/>

詳細情報



詳細は、以下のリソースを参照してください。

IBM Data Studio インフォメーション・センター内の pureQuery 資料

<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/dstudio/v4r1/topic/com.ibm.datatools.javatool.runtime.doc/>

InfoSphere Optim pureQuery Runtime for Linux, UNIX, and Windows のサポート

http://www.ibm.com/support/entry/portal/overview/software/information_management/

InfoSphere Optim pureQuery Runtime for Linux, UNIX, and Windows の製品情報

<http://www.ibm.com/software/data/optim/purequery-runtime/>

http://www.ibm.com/developerworks/data/roadmaps/roadmap_purequery.html

